



箕輪進修高校 進路指導室

2012. 5. 1

3, 4年生用 No.8

企業回り始めました

今年4月入社した生徒の様子や今年の企業の様子等お伺いする為に企業周りを始めました。まだ一部の企業を回っただけなので何ともいえませんが、自動車関連の企業は少し業績が持ち直してきて忙しいと言っていました。しかしどの企業も先行きが不安でそんなに楽観的ではありません。



今後の経済動向によってはどうなるか分かりませんが、今年の就職戦線も楽観出来ない状況にあることだけは確かでしょう。皆さんはとりあえずどこかの企業に入りたいと思うでしょう。しかし企業を取り巻く環境は益々厳しくなるばかりで、**企業は出来るだけしっかりした戦力になってくれる生徒を探りたいという思いが強まっている**でしょう。

ある企業の方が次のような強い覚悟を持った印象的なことを言っておられました。皆さんはこれを読みどう感じますか？

「三十年後の日本の状況ははっきりしている。それは確実に現在より悪くなっているということだ。今後確実に人口が減り、働ける人が少なくなり、今より良くなる要素は何もない。その時に自分の企業が生き残れる保証はない。相当頑張らなくては生き残れないことは確かだ。だからうちの企業は他で誰もやらないものを率先してやるようにしている。従来有るものをつくっていたのではじり貧になる。もはや高卒の仕事はうちにはなくなってきた。」



先輩の活躍は後輩に影響！

企業回りをしている際に、ある企業から「良い生徒を紹介してもらい大変有り難い」と言われました。数年前二次募集以降にその会社に採っていただいたのですが、立派に戦力となり頑張っているとお聞きし私もほっとしました。逆に今回もある大手企業では「あの生徒を採用して失敗した」と人事担当者か漏らされ、どきっとしてきました。せっかく採用してもらったのに企業では期待はずれであったということでしょう。昨年もある会社に最近入った本校の先輩達の働きが今イチで「もう箕輪進修からは採用しない」と言われたところもあります。

皆さんは学校を卒業後は高校と企業との関係はさほど気にしないかもしれませんが、先輩が頑張ってくれていると次年度以降も本校からの採用を考えていただけられるでしょうが、逆の場合はまさに後輩達の進路に影響してきます。

今年もすでに3月に卒業した先輩が会社を辞めたという話も聞こえてきています。学校の信用問題です。来年企業回りした際に皆さんが頑張っているという良い話を聞きたいものです。

大きい声を出しいつも元気でニコニコしていれば、大抵のことはうまくいく。

アサヒビール 樋口廣太郎